

第 37 回建設業経理士 1 級原価計算 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。

問 1

原価計算制度における原価の本質は、次の 4 つにまとめられる。第一に、経済的価値を有する財貨や役の消費である点にある☆。第二に、原価は経営において生み出された一定の給付に転嫁される価値である点にある☆。第三に、原価は経営目的、つまり財貨を生産し販売する点に関連して発生する点にある☆。第四に、正常なものである点にある☆。これら 4 つの要件をすべて満たしたものが、原価計算制度における原価として位置づけ、通常は製造原価と販売費及び一般管理費が原価に該当する☆。

問 2

まず、一般的な部門別計算の手法により補助部門費とし、て扱うほか、補助部門の施工部門化により、直接的に各工事に配賦する方法も考えられる☆。また、複数車両には、いて業務センター等を設けて一括して管理する場合は、社内センター制度により、車種別使用率に各工事に要し、他た作業時間等を乗じて配賦額を計算することもある☆☆。他方、業務センター等を設けていない場合に、社内損料計算制度により、運転 1 km 当たり損料と供用 1 日当たり損料に各工事に要した作業時間・日数をそれぞれ乗じて配賦額を計算する方法もある☆☆。

予想採点基準

☆の前の文の内容が正解で加点

☆…2 点×10＝20 点

〔第2問〕

記号(AまたはB)

1	2	3	4	5
B	A	A	B	B

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

予想採点基準

☆…2点×5=10点

〔第3問〕

問1

#501

☆ 9,300,000 円

#502

☆ 5,580,000 円

#503

☆ 3,444,000 円

問2

	材料数量差異	賃率差異	作業時間差異
#501	(B) ☆300,000 円	(B) 30,250 円	(B) 20,000 円
#502	(B) 300,000 円	(B) ☆19,000 円	(B) 80,000 円
#503	(A) 100,000 円	(B) 8,500 円	(B) ☆8,000 円

予算差異	変動費能率差異
(B) ★7,500 円	(B) ★43,200 円
固定費能率差異	操業度差異
(B) ★64,800 円	(B) ★108,000 円

予想採点基準

☆…2点×6=12点

★…1点×4=4点

合計 16点

〔第 4 問〕

問 1

M 1 型設備 円 ☆

M 1 型設備 円 ☆

問 2

円 ☆

問 3

導入時 円

記号 (A または B) 両方正解で☆

1 年度 円

記号 (A または B) 両方正解で☆

2 年度 円

記号 (A または B) 両方正解で☆

3 年度 円

記号 (A または B) 両方正解で☆

4 年度 円

記号 (A または B) 両方正解で☆

5 年度 円

記号 (A または B) 両方正解で☆

問 4

円

記号 (A または B) 両方正解で☆

予想採点基準

☆…2 点×10=20 点

〔第 5 問〕

問 1

完成工事原価報告書			
自 20X1年4月 1日			
至 20X1年9月30日			
		X 建設工業株式会社	
		(単位：円)	
I. 材料費		1,904,200	☆☆
II. 労務費		482,000	☆☆
III. 外注費		1,344,800	☆☆
IV. 経費		1,388,200	☆☆
(うち人件費	938,600	)	☆☆
完成工事原価		5,119,200	☆

問 2

¥ 1,352.270 ☆☆

問 3

- ① 運搬車両部門費予算差異 ¥ 4,900 ☆ 記号(AまたはB) A ☆
- ② 運搬車両部門費操業度差異 ¥ 7,800 ☆ 記号(同上) B ☆

予想採点基準

☆…2点×17=34点